記者発表資料

平成２２年１２月１３日
東 北 地 方 整 備 局

# 新たな性能発注方式による道路舗装の長寿命化について

～学識経験者等による
第２回「道路舗装の性能管理に関する検討委員会」を開催します～

国土交通省東北地方整備局では、 新たな性能発注方式の試行により、新設のアスファルト舗装の長寿命化を図り、維持管理の効率化とコスト縮減を目指すことを目的として、学識経験者や専門家からなる第２回「道路舗装の性能管理に関する検討委員会」を開催します。

今回は、透水性能回復値及び性能基準値の設定、性能維持費の計上方法等、制度面と技術面全般について検討を行います。

なお、本委員会の検討結果を踏まえ、来年度の試行工事の発注を予定しています。

１．開 催 日 時　　平成２２年１２月１５日（水）１４：００～１６：００

２．開 催 場 所　　二日町東急ビル　　２階会議室
仙台市青葉区二日町１６－１

３．委員会名簿　　資料１参照

４．取　　材　　当日の取材は、座長挨拶までとさせていただきますので予めご了承下さい。
なお、検討委員会終了後、本会場にて検討会の概要の説明を行います。

〈 発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会 〉


| 問 い 合 わ せ 先 |
| --- |
| 国土交通省　東北地方整備局　道路部<br>特定道路工事対策官　工藤栄吉<br>電　話　０２２－２２５－２１７１（内線４１１７） |

（資料１）

# 道路舗装の性能管理に関する検討委員会

１．目的等

・公共事業予算の厳しい状況を背景に、アスファルト舗装のより一層のコスト縮減と耐久性の向上が求められている中で、排水性舗装における走行性等に関係する路面排水性能等の向上を図るため、維持管理における性能基準値を設定した新設舗装工事と維持管理工事を一体とする新たな発注方式の制度化が必要となってる。

・そこで、本検討委員会では制度化に資するため、性能向上に向けた契約等に関する制度面と性能管理に関する技術面等の検討を行うものである。

・第１回の検討委員会（平成２２年１０月２０日開催）では、路面性状等の実態・課題、性能管理期間・管理内容及び透水性能の回復等について検討を行った。

２．構成委員

| | 氏　名 | 所属・役職 |
|---|---|---|
| （座長） | むらいさだのり<br>村井　貞規 | 東北工業大学<br>建設システム工学科　教授 |
| 委員 | もりたけけんじ<br>盛武　建二 | 日本大学大学院<br>生産工学研究科　非常勤講師 |
| 委員 | かじ　たろう<br>梶　太郎 | (社)日本道路建設業協会　公共工事委員会<br>研究部会　部会長 |
| 委員 | はまだ　こうじ<br>浜田　幸二 | (社)日本道路建設業協会　技術委員会<br>技術政策等情報部会　部会長 |
| 委員 | いとう まさひで<br>伊藤　正秀 | 国土技術政策総合研究所<br>企画部　ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ研究官 |
| 委員 | くぼ　かずゆき<br>久保　和幸 | 土木研究所　道路技術研究グループ<br>上席研究員（舗装） |
| 委員 | みうら まさのり<br>三浦　真紀 | 東北地方整備局　道路部長 |
| 事務局 | | 東北地方整備局　道路部<br>酒田河川国道事務所 |

敬　称　略